

授業科目：表現と読解	講師名：熊倉 崇裕	1 単位 30 時間 履修時期 1 年生前期
【科目目標】 論理的思考について学び、科学的に物事を認識する能力と、文章の論理的表現や読解力を身につける。		
回数	講義内容	学習方法
1	ガイダンス・イントロダクション	講義・演習
2	論理的な文章作成の基礎1 事実と考えを区別する	講義・演習
3	論理的な文章作成の基礎2 言いたいことを整理する	講義・演習
4	論理的な文章作成の基礎3 きちんと繋げる	講義・演習
5	論理的な文章作成の基礎4 文章の構成を考える	講義・演習
6	論理的な文章作成の基礎5 根拠を提示する	講義・演習
7	論理的な文章作成の基礎6 適切に反論する	講義・演習
8	論理的な思考の基礎1 必要条件・十分条件	講義・演習
9	論理的な思考の基礎2 演繹	講義・演習
10	論理的な思考の基礎3 帰納と仮説形成	講義・演習
11	論理的な思考の基礎4 様々な論理法則	講義・演習
12	論理的な思考の基礎5 論理と対話	講義・演習
13	文章読解・考察1 時事問題1	講義・演習
14	文章読解・考察2 時事問題2	講義・演習
15	全体のまとめ	筆記試験
【教科書】 		
【参考書】 適宜紹介します。		
【使用予定視聴覚機材】 なし		
【評価方法】 提出物に筆記試験の結果を加味して評価(100点)します。		

授業科目：人間生活とデザイン★	講師名：成原 隆訓 建築設計実務	1 単位 30 時間 履修時期 1 年生後期
【科目目標】 ・講義や書籍から学んだ人間工学の知識を用いて、看護を含む日常の事象を理論的に理解する。 ・単純に人間工学の理論を覚えるのではなく、デザインの実践を通して理論を体得し、これまでの使い手の視点を離れ、作り手としての想像力を養う。 ・デザインする際の他者や環境に対する関心と洞察力、観察眼や教養を深めるための技術や習慣を身に付ける。		
回数	講義内容	学習方法
1	人間工学とは 使い手から作り手へ	講義・課題
2	人間工学のために 寸法と形態・図学	復習・講義・課題
3	運動機能① 身体区分・パーセントایل・JISによる設計実践	復習・講義・課題
4	運動機能② 筋肉・骨格・姿勢	復習・講義・課題
5	運動機能③ ボディメカニクス	復習・講義・課題
6	感覚機能① 感覚の種類・視覚・視環境	復習・講義・課題
7	感覚機能② 聴覚・音環境・振動	復習・講義・課題
8	感覚機能③ 室内環境(温熱環境・空気環境)	復習・講義・課題
9	認知機能① 精神作業・記憶・注意力	復習・講義・課題
10	認知機能② 疲労・ストレス・睡眠	復習・講義・課題
11	ヒューマンエラーと安全	復習・講義・課題
12	デザイン① 情報デザイン	復習・講義・課題
13	デザイン② プロダクトデザイン	復習・講義・課題
14	デザイン③ 室内環境・病院のデザイン	復習・講義・課題
15	フィードバック	復習・対話・試験
【教科書】 		
【参考書】 「初めて学ぶ人間工学」 岡田, 後藤, 八木, 山崎, 吉武著, 理工図書 「看護・介護のための人間工学入門」小川, 鈴木, 大久保, 國澤, 小長谷共著, 東京電機大学出版局 「看護動作を助ける基礎人間工学」 小川鉦一著, 東京電機大学出版局		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター		
【評価方法】 課題提出から授業の理解度を判断する。学期末に試験実施予定。		

授業科目:情報科学	講師名: 石井 滋	1 単位 20 時間 履修時期 1年生前期
【科目目標】 1. Word,Excel,PowerPointを用いた資料の作成やデータの処理ができる。 2. 情報通信技術を適切に用いて、多様な解決策を発想、選択し使用できる。 3. 社会人として自己の責任を理解し、他者に配慮して安全に情報を扱うことができる。		
回数	講義内容	学習方法
1	パソコン操作の基礎	講義と演習
2	Word,Excell,PowerPointの使い方	
3	情報通信技術とは 信頼性のある情報とは 情報検索	講義と演習
4	情報倫理とは	講義と演習
5	SNSと情報セキュリティ 情報倫理(具体例から学ぶ)	
6	Excelによる主な関数の使い方(計算式を用いた集計)	講義と演習
7		
8	Excelによる図表の作成・PowerPointによるプレゼンテーション	講義と演習
9		
10	まとめ・終講試験	
【教科書】		
【参考書】 「あなたもできるデータの処理と解析」 岩淵・浦・石井・西田・神山著 福村出版		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター		
【評価方法】 出席状況、課題作成、小テストによる総合評価を行う 合計100点		

授業科目：統計のもと	講師名：石井 京子 石井 滋	2 単位 30 時間 履修時期 2年生前期
【科目目標】 看護における統計の意味と統計資料の集め方や集計方法について理解する。また、データの統計的まとめ方と分析方法についての基本を理解するとともに、ケースデータを用いながらデータの集計方法や分析法を習得する。		
回数	講義内容	学習方法
1	看護と統計学 ・統計学とは ・看護における統計学のはじまり	講義
2	統計資料の集め方 ・調査の種類 ・データの種類	講義
3	統計資料のまとめ方 ・データの図表によるまとめ方 ・度数分布表 ・正規分布	講義
4	データの統計的まとめ方 ・代表値 ・散布度(範囲・標準偏差)	講義
5	データの関係性の分析 ・相関図 ・相関関数	講義
6	度数・比率の差異の分析 ・2×2のクロス集計 ・ χ^2 検定	講義
7	平均値の差の検定 ・分散の差の検定 ・t検定	講義
8	まとめ 終講試験 ・授業全体を総括しながらまとめを行う。	講義 終講試験
9	Excelによる基本統計量の算出	講義と演習
10	Excelによる2つのデータの関係性の分析(相関図と相関係数)	講義と演習
11	Excelによるクロス集計と χ^2 検定	講義と演習
12	オッズ比を用いた比較のやり方	講義と演習
13	2つの平均値の差の分析,Excelによるt検定のやり方	講義と演習
14	3つ以上の平均値の差の分析:Excelによる分散分析のやり方	講義と演習
15	まとめ・終講試験	講義 終講試験
【教科書】 石井京子・多尾清子著「ナースのための質問紙調査とデータ分析」:医学書院 多尾清子著「統計学者としてのナイソゲール」:医学書院		
【参考書】 「あなたにもできるデータの処理と解析」岩淵千明・石井滋ほか著:福村出版		
【使用予定視聴覚機材】 なし		
【評価方法】 筆記試験100点		

授業科目:倫理のもと★	講師名: 堀内 吉美 看護師	1 単位 30 時間 履修時期 1 年生後期
【科目目標】 看護を学ぶ者として「生命とは」その本質を追求し生命の尊厳、人権尊重について学び、自己の死生観、倫理観の基礎をつくる。		
回数	講義内容	学習方法
1	倫理とは	講義
2	生命倫理・徳の倫理	講義
3	義務とは権利とは 功利主義	講義
4	プレゼンテーション:脳死と臓器移植	プレゼンテーション
5	プレゼンテーション:自然災害と医療	プレゼンテーション
6	プレゼンテーション:再生医療	プレゼンテーション
7	3つのプレゼンテーションのトピックス	講義
8	プレゼンテーション:権利の実態	プレゼンテーション
9	プレゼンテーション:出生前診断	プレゼンテーション
10	プレゼンテーション:人工妊娠中絶と赤ちゃんポスト	プレゼンテーション
11	プレゼンテーション:死はいかに克服できるか(各生命観)	プレゼンテーション
12	4つのプレゼンテーションのトピックスとディベートについてのオリエンテーション	講義
13	安楽死と尊厳死	ディベート
14		
15	筆記試験(レポート含む):100点	
【教科書】 系統看護学講座別巻 看護倫理 医学書院		
【参考書】 授業で紹介		
【使用予定視聴覚機材】		
【評価方法】 筆記試験(レポート含む)合計100点		

授業科目:人間関係のもと	講師名: 森下 朝日	1 単位 30 時間 履修時期 1 年生前期
【科目目標】 看護に必要な人間関係を発達させるためコミュニケーション技術を学ぶ。		
回数	講義内容	学習方法
1	自己の成り立ち	講義・自己分析
2	対人認知(1)印象形成と対人コミュニケーション①	講義
3	対人認知(1)印象形成と対人コミュニケーション②	GW
4	対人認知(2)印象形成で生じるバイアス①	講義
5	対人認知(2)印象形成で生じるバイアス②	GW
6	心の発達とライフサイクル論①	講義・自己分析
7	心の発達とライフサイクル論②	VTR視聴
8	自己開示とフィードバック①	講義・自己分析
9	自己開示とフィードバック②	GW
10	対人葛藤とその解決①	講義
11	対人葛藤とその解決②	GW
12	受容的コミュニケーション(1)傾聴の大切さ①	講義
13	受容的コミュニケーション(1)傾聴の大切さ②	GW
14	受容的コミュニケーション(2)共感的理解①②	講義
15	終講試験	
【教科書】 プリントを配布します		
【参考書】 「図解雑学 任兼関係の心理学」斎藤学著 ナツメ社 「人間関係づくりトレーニング」星野欣生著 金子書房		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター、DVD		
【評価方法】 授業中に提出するミニレポートと筆記試験によって総合的に判断します 合計100点		

授業科目:生活と文化	講師名: 鈴木垂望	1 単位 30 時間	履修時期 2年生後期
【科目目標】 様々な国・地域の生活や文化の諸現象をとおして、人間をたらしめている文化の多様性や普遍性を学び、人間の理解を深める。			
	講義内容	学習方法	
1	イントロダクション:人間の生活と文化を理解するための文化人類学によるアプローチ	講義	
2	宗教①:宗教実践と人間の生活との関わり	講義	
3	宗教②:宗教実践と看護との関係	講義	
4	出産:出産と「中絶」をめぐる多様なあり方	講義	
5	家族①:家族の「つながり」	講義	
6	家族②:結婚と親子関係	講義	
7	ジェンダー①:ジェンダーとは何かを身近な事例から考える	講義	
8	ジェンダー②:ジェンダーという視座の看護との関わり	講義	
9	セクシュアリティ:セクシュアリティとメディアによる表象	講義	
10	身体技法:身体の動かし方や感覚の文化的差異について考える.	講義	
11	心と社会①:精神医療を社会的な面から考える	講義	
12	心と社会②:精神医療とアサイラム空間をめぐる問題	講義	
13	老い:老いとケアをめぐる多様なあり方	講義	
14	死をめぐる文化:人の死の判定と葬送儀礼 死と世界観:弔いの方法と世界観、生命観	講義	
15	終講試験 まとめ		
【教科書】 特になし			
【参考書】 特になし。 講義内容に関する文献を講義中に紹介する			
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター、DVD			
【評価方法】 筆記試験:100点			

授業科目:発達心理と教育	講師名: 熊倉 崇裕	1 単位 30 時間 履修時期 2年生後期
【科目目標】 教育の原理と人間形成における教育の機能を学び、看護における教育活動の基礎とする。		
回数	講義内容	学習方法
1	教育とは何か	講義
2	ポストモダンについて	講義
3	効率的な学習法について	講義
4	教育哲学	講義
5	コミュニケーションとしての教育	講義
6	「ケア」を考える	講義
7	いじめをなくす社会を目指すには	講義
8	不登校をなくす社会を目指すには	講義
9	家庭教育について	講義
10	教育をもう一度看護の立場から考え直す。	講義
11	生涯教育について	講義
12	教育学と心理学と看護	講義
13	発達凸凹について	講義
14	仕事と教育 デスエデュケーション 死の準備教育について	講義
15	終講試験 まとめ	講義
【教科書】		
【参考書】 特に使用しません		
【使用予定視聴覚機材】 特に使用しません		
【評価方法】 筆記試験:100点		

授業科目:医療と英語	講師名: ウォルフス・ベンヤミン	1 単位 30 時間 履修時期 3年生 後期
【科目目標】 看護場面に必要な日常英会話とファーストコンタクトに必要な医療英語を学ぶ。		
回数	講義内容	学習方法
1	Introduction and class outline	講義
2	Classroom English	講義
3	Counting; floors,things, in order, calendar	講義、演習
4	Major internal and external body parts	講義
5	Medical English terms, conditions, diseases, etc	講義
6	Describing pain and symptoms	講義
7	Giving directions	講義
8	Communicating using verbs	講義、演習
9	Alternative thinking(thinking outside the box)	講義、演習
10	Major English phrases you should know	講義
11	Describing people using adjectives	講義
12	Surprise (試験:グループ発表;外来や看護場面の英会話対応シミュレーション)	シミュレーションテスト
13	Surprise	シミュレーションテスト
14	Surprise	シミュレーションテスト
15	Surprise	シミュレーションテスト
【教科書】 特に指定しません。		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】 特になし。		
【評価方法】 ・授業中のミニテスト ・英語劇(シミュレーション)での表現 以上から総合的に評価します。合計100点		

授業科目：健康とレクリエーション	講師名：岸本 功喜	1 単位 30 時間 履修時期 3年生通年
【科目目標】 レクリエーションを通して、健康な生活を維持していくこと、レクリエーションを運動生理学や健康心理学の側面から学び、学生自身が看護につなげる意義を明確にする。		
回数	講義内容	学習方法
1	身体表現とは（1回2時間15分）	講義・実技
2	身体表現	実技
3	コンテンポラリー・ダンス（身体表現）、ミュージカル	講義・視聴
4	レクリエーション（講師企画）	実技
5	グループ編成し、レクリエーションの目的別企画（グループワーク）	グループ企画
6	レクリエーションのグループ主催（全員に対し実施）	実技
7	レクリエーションのグループ主催（全員に対し実施）	実技
8	レクリエーションのグループ主催（全員に対し実施）	実技
9	レクリエーションのグループ主催（全員に対し実施）	実技
10	レクリエーションの意義	発表まとめ
【教科書】 特に指定しません。		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】 使用しません。		
【評価方法】 授業への参加状況から評価 合計100点		

授業科目：宝塚学 I ★	講師名：堀内 吉美 看護師	2 単位 30 時間 履修時期	1 年生 通年
【科目目標】 地域を知り、地域看護の視点をもち看護学校の役割である地域の健康に貢献するとともに情報を発信する力を身につける。			
回数	講義内容	学習方法	
1	地域を知ること ボランティアとは	講義・GW	
2	宝塚について知る 歴史・地理・産業・観光	講義・GW	
3			
4			
5	ボランティア活動の計画および実際	ボランティア活動	
6			
7			
8	宝塚を知る フィールドワーク	フィールドワーク	
9			
10			
11	「宝塚市を知ろう」プロジェクト まとめ	GW	
12			
13	「宝塚市を知ろう」プロジェクト 兵庫県下の看護学生との交流会	プレゼンテーション	
14			
15	まとめ	講義・GW	
【教科書】 必要時資料配布 系統看護学講座 地域・在宅看護論Ⅰ 地域・在宅看護の基盤 医学書院			
【参考書】 宝塚市文化財団編 宝塚まちかど学新版			
【使用予定視聴覚機材】 PC・プロジェクター・DVD			
【評価方法】 小テスト・プレゼンテーション・ボランティア活動実施報告および報告書を評価対象とする。 合計100点			